

2026年8月23日(日)

日本基督教団 大宮教会

大宮教会ビジョン

「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」  
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -  
(マタイによる福音書 28:19-20)

## 聖霊降臨節第14主日

朝第1礼拝 9:00~10:00

朝第2礼拝 10:30~11:45

＜神の招き＞

前 奏 ① トッカータ ト短調 パッヘルベル  
② キリストよ、我は確かに知る ブクステフーデ

招きの詞 エフェソの信徒への手紙 2:17~18

交読詩編 40:1~12

讃美歌 165

＜神の言葉＞

聖 書 創世記 2:15~25  
(旧約 聖書協会共同訳 2頁)  
エフェソの信徒への手紙 5:21~33  
(新約 聖書協会共同訳 351頁)

祈 禱  
讃美歌 447  
説 教 「互いに従う」 佐藤潤伝道師

祈 禱  
黙 想  
讃美歌 481

＜神への応答＞

使徒信条  
献 金  
主の祈り  
宣教報告②  
頌 栄 25  
派遣と祝福

後 奏 ① 我らは皆、唯一の神を信ず J.C. パッハ  
② 人よ、幸いなる生を願うならば ブクステフーデ

宣教報告①

夕 礼 拝 18:00~19:00

＜神の招き＞

前 奏 私は神を離れません J.M. パッハ  
招きの詞 エフェソの信徒への手紙 2:17~18  
交読詩編 40:1~12  
讃美歌 225

＜神の言葉＞

聖 書 イザヤ書 42:1~4  
(旧約 聖書協会共同訳 1112頁)  
ルカによる福音書 9:28~36  
(新約 聖書協会共同訳 121頁)

祈 禱  
讃美歌 430  
説 教 「隠されていた栄光」 佐藤潤伝道師

祈 禱  
黙 想  
讃美歌 454

＜神への応答＞

使徒信条  
献 金  
主の祈り  
宣教報告  
頌 栄 25  
派遣と祝福  
後 奏 グラーヴェ ホ短調 アロック

### 今週の御言葉

キリストに対する畏れをもって、互いに従いなさい。  
(エフェソの信徒への手紙 5:21)

### 次週の礼拝(8月30日)

① 9:00、② 10:30  
説教「救いをもたらすために」  
熊江秀一牧師  
出エジプト記 24:1~8  
ヘブライ人への手紙 9:15~28  
交読詩編 62:1~13  
讃美歌 15、53、303、28

サテライトチャーチ植竹礼拝・夕礼拝  
10:30、☑ 18:00  
説教「希望こそまことの平和」 佐藤潤伝道師  
哀歌 3:19~24、  
ローマの信徒への手紙 15:13  
交読詩編 62:1~13  
讃美歌 122、417、578、25

ワーシップ(賛美礼拝) 14:00~15:00

説教:「命のパン」 熊江秀一牧師 ヨハネによる福音書 6:34~35  
賛美: 恵みと平安、ここから、主イエスの十字架の血で、感謝の心、主イエス神の愛、主の祈り、  
花も、Peace of Christ

■**今週の祈禱課題**■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 熊本地震と東日本大震災、能登半島地震、千葉豪雨の被災者の為に
3. キリストの平和の為に
4. 教会学校中高科の夏の集いの為に
5. 関連幼稚園（大宮・植竹・白百合）の夏期保育の為に
6. 関東教区の為に
7. イスラエルとパレスチナ、イラン、世界の平和の為に
8. 病気の兄姉の為に

**\*関東教区お祈りカレンダー** 宇都宮東伝道所 宇都宮上町教会 足利教会

◇先週の説教より「永遠の贖い」 ヘブライ人への手紙9章1～14節、レビ記16章11～19節

熊江秀一牧師

ヘブライ書の説教者は、キリストが大祭司であることを語ってきた。このお方によって新しい時代が始まった。キリストによる新しい契約の時代である。今日の箇所では、新しい時代の到来が「改革」と呼ばれる。戦後、日本は新しい時代を歩み出した。しかし今、日本が古い時代に、逆行している風潮がある。今日の聖書にも同じ問題が指摘されている。キリストによる新しい時代が到来したのに、古い時代に逆行している姿である。

古い契約の時代、幕屋に遮られた礼拝であった。その姿を説教者は神を見失った「今という時代の比喻」と告げる。

今はキリストが到来した新しい時代である。しかし今も、幕屋に遮られるように、神を見失っている。隣人のことも見えず、自分のことしか目が向かない。しかしそんな罪の世に自ら飛び込み、命を持って改革して下さるお方がキリストであった。

キリストの十字架の死の時、神殿の垂れ幕が真っ二つに裂けたように、神と人とを隔てる私たちの罪をキリストは十字架で取り去り、贖って下さった。キリストは地上の聖所で大祭司が動物の血で罪の赦しを祈る礼拝ではなく、天の聖所でご自分の血で私たちに永遠の贖いを成し遂げて下さった。それは既に十字架と復活によって実現した。しかしそれはまだ完成ではない。その恵みを知らない人がまだいる。それが今の時代である。だからこそ大祭司キリストの執り成しは今も続き、教会は福音を宣べ伝え、キリスト者はキリストを証しする。

これは私たちが祭司になることでもある。私たちは祭司となって神を礼拝し、隣人を執り成し、福音を宣べ伝える。

神を見失った今の時代にあって、大祭司キリストの永遠の贖いは実現している。この恵みを心から喜び、万人祭司となってこの救いを伝えてゆこう。

\*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。\*○は祈禱当番の方。\*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、㊦は夕礼拝。